

受賞者氏名	倪 彬 (Bin Ni)	
所属	法政大学 経済学部	
受賞年月日	2025 年 (第 20 回・2025 年度)	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	日本国際経済学会 (小島清基金)	
受賞名	小島清賞 優秀論文賞 (第 20 回／2025 年度)	
受賞(研究)内容詳細	【受賞対象論文】「When free trade agreement meets competition: The impact of the EU-Korea FTA on Japanese firms' investment behavior」 (倪 彬・小松 美穂 共著) 本研究は、二国間の自由貿易協定 (FTA) が、当該協定に直接関与しない第三国の多国籍企業の意味決定に及ぼす「間接的影響」を分析したものである。具体的には、2011 年に発効した EU・韓国 FTA を取り上げ、EU 域内で操業する日本企業の海外現地法人が、同 FTA を契機に投資行動をどのように変化させたかを検証した。 経済産業省「海外事業活動基本調査」の現地法人レベルの個票データ (1995～2017 年) を用い、立地選択に伴う内生性に配慮するため、差分の差分法 (DID) を採用した。EU 域内に立地する日本の現地法人を処置群、域外を対照群とし、企業・国レベルの属性を制御したうえで投資額の変化を比較している。 主な発見は次の通りである。第一に、EU・韓国 FTA は、EU 域内の日本現地法人による対外直接投資 (FDI) を、域外の現地法人と比べて約 7～8.5% 減少させた。第二に、産業の異質性を検討した結果、日韓企業の競争が激しい産業ほど、日本の現地法人が当該外的ショックの負の影響を受けやすいことが示された。第三に、貿易や売上・調達といった他の経営指標にも総じて負の影響が及んでいた。 本研究は、二国間 FTA が「協定の対象外にある第三国企業」の行動に及ぼす間接的影響を、詳細な企業レベルデータを用いて初めて実証的に示した点に新規性があり、FTA が第三国の FDI に与える間接的影響が決して小さくないことを明らかにした。	